

♪～矢口が丘映画会 6月ご案内♪

日 時 令和4年6月16日(木)

午後1時30分～

会 場 矢口が丘集会所 洋室



懸命に生きる人たちの姿に勇気をもらえる！



【監 督】成島出

【脚 本】香平松恵美子

【原 作】南杏子

【出 演 者】吉永小百合・広瀬すず・松坂桃李
西田敏行・柳葉敏郎・南野陽子

【公 開 日】2021年5月21日

【配 給 元】東映ビデオ

【上映時間】119分



いのちの停車場

自分らしい生き方を模索する患者
たちに向き合うことで、自らも大
きな気づきを得ていく

あらすじ・みどころ

世界中が自分自身に向き合ったコロナ禍の中 “生きるヒント” がちりばめられた感動作。

“いのち” というキーワードは重厚さが感じられるが、本作には『人が人を思うあたたかさ、懸命に生きる人たちの姿』に勇気をもらえ、未来に花を咲かせる芽がちりばめられている。咲和子(吉永小百合)は、いのちの第一線である東京の救命救急センターで、そのキャリアをいかに発揮していたが、ある事件で病院を追われ、生まれ故郷にある石川県金沢市にある在宅医療を行う小さな「まほろば診療所」に赴任する。

その診療所で働く訪問看護師の麻世(広瀬すず)も明るい笑顔が持ち味の女性だが、過去に同乗していた車の事故で姉を亡くすというつらい過去を持ち、そして野呂(松坂桃李)も、親からの大きな期待に応えられない苦悩を抱えていた。過去につまずきを持つ3人が、在宅医療を選択した患者たちの、仕事へのプライドや愛、絶対に他人には看取らせないという強い夫婦愛、生まれ故郷で静かに暮らしたいという郷土愛、懸命にいのちに向き合う親の愛など、さまざまな熱を帯びた“愛”と向き合うことで「自分のこれからの人生をどう生きたいのか」というポジティブな感情に心動かされる。

♪～矢口が丘映画会 6月ご案内♪

日 時 令和4年6月16日(木)

午後1時30分～

会 場 矢口が丘集会所 洋室



懸命に生きる人たちの姿に勇気をもらえる！



【監 督】成島出

【脚 本】香平松恵美子

【原 作】南杏子

【出 演 者】吉永小百合・広瀬すず・松坂桃李
西田敏行・柳葉敏郎・南野陽子

【公 開 日】2021年5月21日

【配 給 元】東映ビデオ

【上映時間】119分



自分らしい生き方を模索する患者
たちに向き合うことで、自らも大
きな気づきを得ていく

あらすじ・みどころ

世界中が自分自身に向き合ったコロナ禍の中 “生きるヒント” がちりばめられた感動作。

“いのち” というキーワードは重厚さが感じられるが、本作には『人が人を思うあたたかさ、懸命に生きる人たちの姿』に勇気をもらえ、未来に花を咲かせる芽がちりばめられている。咲和子(吉永小百合)は、いのちの第一線である東京の救命救急センターで、そのキャリアをいかに発揮していたが、ある事件で病院を追われ、生まれ故郷にある石川県金沢市にある在宅医療を行う小さな「まほろば診療所」に赴任する。

その診療所で働く訪問看護師の麻世(広瀬すず)も明るい笑顔が持ち味の女性だが、過去に同乗していた車の事故で姉を亡くすというつらい過去を持ち、そして野呂(松坂桃李)も、親からの大きな期待に応えられない苦悩を抱えていた。過去につまずきを持つ3人が、在宅医療を選択した患者たちの、仕事へのプライドや愛、絶対に他人には看取らせないという強い夫婦愛、生まれ故郷で静かに暮らしたいという郷土愛、懸命にいのちに向き合う親の愛など、さまざまな熱を帯びた“愛”と向き合うことで「自分のこれからの人生をどう生きたいのか」というポジティブな感情に心動かされる。